

Tanya	今日は「テクノロジー」について発表 ^{はっぴょう} したいと思います。どうぞよろしくお願い ^{ねが} します。
Steven	どうしてこのテーマを選 ^{えら} んだ理由 ^{りゆう} を簡単 ^{かんたん} に説明 ^{せつめい} したいと思います。私達五人はITの学生でもあり、テクノロジーに興味 ^{きょうみ} を持っているから、「テクノロジー」のテーマを選 ^{えら} びました。
Line	◆まず、◆フランスと日本のテクノロジーの違いを紹介します。そして、◆日本の不便なテクノロジーについて話します。それから、◆トイレの紹介と◆例文を二つ挙げたいと思います。
John	<p>◆日本で日常^{にちじょうてき}に使われているテクノロジーはフランスのとは少し違^{ちが}っています。◆もっと便利な所^{べんり}があります。◆例えば、新幹線^{しんかんせん}。新幹線はフランスの電車より速いだけではなく、もっと少ない電力^{でんりよく}を必要^{ひつよう}とします。</p> <p>◆実は、日本のテクノロジーは日本人のために作られています。例えば、寒い時に、日本の家の断熱性能^{だんねつせい}が低いので、◆こたつなどの技術^{ぎじゆつ}が発明^{はつめい}されました。</p> <p>しかし、フランスで使われているテクノロジーと比べると、時々実用性^{じつようせい}の低いテクノロジーもあります。</p>
Line	<p>◆日本は未来^{みらい}的な国だというのに、日本人は他の先進国^{せんしんこく}ではもう使用されなくなった技術を手放^{てばな}すことができないようです。その理由は文化に関係があるのではないのでしょうか。◆最も典型的な例はファックスの使用だと思います。なぜなら、日本人の高齢者^{こうれいしゃ}の割合が高いので、伝統的な価値観^{かちかん}を持っている人も多いのです。</p> <p>このような価値観^{かちかん}はいくつかの問題を引き起こします。例えば、すべてを手書きでしなければならないので、長時間労働^{ちやうじかんろうどう}にもかかわらず、◆生産性^{せいさんせい}が低いのが日本会社の現在の状況^{じやうきやう}です。</p> <p>◆また、クレジットカードを使えず、現金^{げんきん}だけで払わなければならないお店は外国人にとって少し不便です。</p> <p>でも結局、それは日本の魅力^{みりよく}の一部だと思う人もいます。色々なCDやDVDを販売している日本の音楽店^{おんがくてん}は、年齢や国籍に関係なく、今でも人気があるそうです。</p>
Tanya	<p>◆このような古風^{こふう}な日本でも、他の国にはない唯一無二^{ゆいいつむに}のテクノロジーを持っています。◆そう、日本のトイレのことです。世界には主に3種類^{おも しゅるい}のトイレがあります。</p> <p>◆欧風^{おうふう}トイレ：つまり私達が日常^{にちじょう}で使っているトイレのことです。</p> <p>◆和式^{わしき}トイレ：トイレの上にしゃがまなければならないトイレです。</p> <p>◆そして、シャワートイレ、またはウォシュレット：つまりウォータージェットが付いているハイテクなトイレです。</p> <p>日本では、清潔^{せいけつ}はとても大事^{だいじ}ですから、◆日本人はシャワートイレを使うのが好きです。◆約80%の家がシャワートイレを備^{そな}えています。日本人の学生によると、若い人はあまりシャワートイレを使いませんが、きれいなトイレは重要^{じゅうよう}だそうです。それから、エアコンの位置^{いち}がドアを塞^{ふさ}いでいるのはいいのですが、トイレの機能^{きのう}がきちんと働いていないと、だめだと思っている人もいます。</p>

Steven	<p>◆トイレがこのようにハイテクで本当にいいですか？私達の結論を二つの点にまとめました。</p> <p>最初の点ですが、◆ハイテクなシャワートイレはもちろん大歓迎です。テクノロジーの塊であるシャワートイレは、◆ユーザーの快適のために設計されました。</p> <p>例えば、おしりを洗えるように、◆発明者がトイレにウォータージェットを付けました。</p> <p>◆便座を温める技術もシャワートイレにはあります。</p> <p>さらに、◆シャワートイレには自己洗浄機能が付いています。この機能はトイレの清潔と時間の節約だけではなく、◆使用者の衛生も約束します。手はバクテリアを拡散する所なので、シャワートイレを使うと、使用者の手は何も触る必要がないから、病気にかかるリスクも少なくなります。</p> <p>以上の理由から、シャワートイレに賛成します。</p>
Anna	<p>◆しかし、最近、◆「Hi Toilet」という新たなハイテクな公共トイレが現れるようになりました。「Hi Toilet」は公共の場での接触を回避するため、◆声だけで操作できるトイレです。</p> <p>しかし、私達も、日本人の学生達も、◆このようなテクノロジーは必要ではないと思っています。iPhoneのSiriのように、音声認識には欠点があるため、どのように話せばいいのかが問題になります。「はっきりとした大きい声」と言われても、その基準が分からず、トイレが使えない場合もあります。</p> <p>それに、声で操作するトイレは面白い発想だが、公共の場での接触を回避するのが目的でしたら、もっと他に確実な方法があると思います。例えば、体の動きに反応するセンサー。つまり、ボタンの代わりにセンサーを付けるだけで、本来の目的である接触の制限を達成できます。</p> <p>日本人の学生も「今の機能でも十分」と言っていました。以上の理由から、「Hi Toilet」には賛成できません。</p>
John	<p>◆以上の話から、古い価値観と最先端の技術を併せ持っている日本は、とても矛盾な国であることがわかりました。</p> <p>トイレの二つの例を見て、最先端のテクノロジーは「必要」と「そうでもない」二種類に分けられることもわかりました。</p> <p>ハイテクな物にどれだけ技術を注ぎ込んでも、古い発明に敵わないこともあります。</p>
Anna	<p>◆◆◆以上が私達の発表でした。ここまで、ご清聴ありがとうございました。</p>